

学校だより 「友愛」 No. 38



【発行者：校長 味原悦雄】《発行日：平成20年6月26日》

1学年で職業講話学習が実施される



25日(水)の5・6校時(総合学習の時間)、本校の多目的ホールに於いて、1学年で『職業講話学習』が実施されました。

講師に株式会社福島明工社 代表取締役社長 川村 龍俊 氏を迎え、講話をいただきました。

この『職業講話学習』は、次の3つの目的のために行われたものです。

- ①キャリア教育の一環として、地域で働く人の講話を聞き、働くことの意義を理解する。
- ②産業・経済などの変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。
- ③将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。



講話は、講師の先生を囲んで円形になり、ワークショップ形式で行われました。講師の川村氏からは、子どもたちに「職業と仕事の違いは?」、「環境問題とは?」、「環境とは?」、「大人とは?」等、次々と質問があり、子どもたちは自分なりに考えて答えていました。

川村氏は、一つ一つについて丁寧に分かりやすく、そして力強く話をしました。子どもたちは、川村氏の迫力に終始圧倒されていたようです。約2時間の講話でしたが、あっという間に過ぎてしまった感じがします。この機会に、子どもたちには将来の生き方についてしっかり考えてほしいと思います。



仕事とは、人のために
やらなければならない
ことをすることだよ!

自分以外は、すべてが
環境だよ!

大人とは、自分のことを置
いておいて、他の人のため
に行動できることだよ!

.....

株式会社 福島明工社 について

- 1932年東京都目黒区に川村紙器工業所が創設され、ダンボール等の紙器印刷業が開業される。(明工グループとしての創業)
- 戦後、日本にはそれまで存在しなかった、アメリカ製の「ゴムで出来た屋外用配線器具」をヒントに日本市場向けにアレンジして、防雨型の配線器具のシリーズを開発する。
- 商品名「防水ゴムプラグ・コネクター」の利便性が市場で評判となり、配線器具の製造に専従する。社名も「明るい工場」を目指して「明工社」と改名する。
- 1969年、配線器具製造の強化のため、(株)福島明工社を設立する。
- 点滅器を含む住宅用連用配線器具の市場にも進出する。
- 1980年、JIS表示許可工場の認定を受け、福島明工社が明工グループの中でのメイン工場になる。
- ホームセンターで扱っているテーブルタップといった一般向け配線器具を手掛ける。
- 1999年、業界初のISO9001、2004年にはISO14001を認証取得する。